



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月9日

上場会社名 株式会社プレナス 上場取引所 東
 コード番号 9945 URL http://www.plenus.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)塩井 辰男
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理室長 (氏名)廣藤 明 (TEL)092(452)3678
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	113,347	7.9	5,716	28.9	6,353	34.4	3,721	110.4
25年2月期第3四半期	105,094	12.6	4,436	△0.6	4,725	△1.7	1,769	12.1

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 3,738百万円(112.1%) 25年2月期第3四半期 1,762百万円(12.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	97 39	97 13
25年2月期第3四半期	46 30	46 21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	84,655	59,121	69.6
25年2月期	81,429	57,242	70.1

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 58,932百万円 25年2月期 57,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	25 00	—	25 00	50 00
26年2月期	—	25 00	—		
26年2月期(予想)				25 00	50 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	151,800	7.2	8,000	23.6	8,500	18.8	4,800	65.1	125 60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「会社方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当します。

詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期3Q	44,392,680株	25年2月期	44,392,680株
26年2月期3Q	6,174,450株	25年2月期	6,182,520株
26年2月期3Q	38,215,483株	25年2月期3Q	38,210,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 四半期決算補足説明資料の入手方法について

- ・四半期決算補足説明資料は、平成26年1月9日(木)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、生産の増加や設備投資の持ち直しの動きが見られ、企業収益も改善が進む等、緩やかに回復してまいりました。

当外食産業におきましては、企業間の厳しい競争が継続しているものの、個人消費の持ち直し等もあり、事業環境に明るさが見えてまいりました。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き新規出店を推進すると共に、店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、商品力の強化、効果的な販売促進活動の展開に努めました。また、「ほっともっと事業」において、加盟店を増やしていく取り組みを進めました。さらに、新鮮で質の高いごはんを提供することへのこだわりの一環として、健康的でおいしい「金芽ごはん」を導入しました。

国内における店舗展開につきましては、新規出店を81店舗、退店を34店舗行った結果、店舗数は47店舗増加し、2,960店舗となりました。また、改装・移転につきましては、87店舗実施いたしました。

海外における事業展開につきましては、3月にオーストラリアにおいてPLENUS AusT PTY. LTD. (非連結子会社)を設立し、「やよい軒」の出店に向けた準備を進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,133億47百万円(前年同期比7.9%増)、営業利益は57億16百万円(前年同期比28.9%増)、経常利益は63億53百万円(前年同期比34.4%増)、四半期純利益は37億21百万円(前年同期比110.4%増)となりました。売上高につきましては、新規出店による店舗数の増加が主な要因で、前年同期実績を上回りました。営業利益・経常利益につきましては、売上高の伸長に加え、仕入れコストの改善等により、前年同期実績を上回りました。なお、四半期純利益につきましては、前年同期に特別損失として訴訟損失引当金繰入額を計上したこともあり、前年同期実績を大きく上回りました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

【ほっともっと事業】

「ほっともっと」創設5周年を記念した5月の「のり弁当」を対象とするキャンペーンや「ハンバーグ弁当」のリニューアルを実施する等、従来に引き続き定番商品の拡販に努めました。また、様々なシーンで気軽にご利用いただける「パーティプレート」や、ヘルシー志向に合わせた「十六穀米のバランス弁当」、タイ料理の「ガパオライス」等の新商品も適宜発売し、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。店内調理による手づくりの特長を活かした商品開発に努め、競合店との差別化を図りました。

また、昨年導入した「ユニットFC制度」によるフランチャイズ展開の推進に注力し、新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化に積極的に取り組んだ結果、加盟店は着実に増加しております。

さらに、爽やかで清潔感のある洗練された空間をコンセプトとしたデザインで、機能的で居心地のよい店内環境にこだわった新たなタイプの店舗の導入を随時進めております。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比102.0%となりました。

店舗展開につきましては、新規出店を59店舗、退店を32店舗行った結果、店舗数は27店舗増加し、2,686店舗となりました。改装・移転につきましては、73店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は927億37百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益は47億円(前年同期比19.7%増)となりました。

【やよい軒事業】

素材にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、「ひつまぶし定食」「すき焼き定食」等の郷土性や季節感を取り入れたメニューや、ボリューム感あるメニューをタイムリーに発売し、他店との差別化を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSCの向上に努めると共に、ディスカウントキャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

これらにより、既存店売上高は、前年同期比102.6%となりました。

なお、さらなる事業基盤の強化に向けてフランチャイズ展開を推進するため、専門部署を設置し、制度設計等の検討を進めております。

店舗展開につきましては、北陸エリアに初出店するなど新規出店を18店舗、退店を1店舗行った結果、店舗数は17店舗増加し、239店舗となりました。なお、改装を14店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は179億71百万円(前年同期比18.3%増)、営業利益は11億9百万円(前年同期比88.5%増)となりました。

【しゃぶしゃぶダイニングMK事業】

季節に合わせたメニューの発売や、カード会員向けに販売促進活動を行うと共に、店舗のQSCのさらなる向上に努め、お客様の来店促進を図りましたが、既存店売上高は、前年同期比97.1%にとどまりました。

店舗展開につきましては、新規出店を4店舗、退店を1店舗行った結果、店舗数は3店舗増加し、35店舗となりました。

以上の結果、売上高は26億38百万円(前年同期比17.5%増)、営業利益は29百万円(前年同期比23.9%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ32億26百万円増加し、846億55百万円となりました。内訳は、流動資産が19億6百万円増加したこと及び固定資産が13億20百万円増加したこととあります。流動資産の増加は、受取手形及び売掛金が1億99百万円増加したこと、商品及び製品が17億24百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の増加は、有形固定資産が5億97百万円増加したこと、投資その他の資産が7億77百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ13億48百万円増加し、255億34百万円となりました。内訳は、流動負債が11億56百万円増加したこと及び固定負債が1億91百万円増加したこととあります。流動負債の増加は、支払手形及び買掛金が14億5百万円増加したこと、賞与引当金が1億97百万円減少したことなどによるものです。また、固定負債の増加は、資産除去債務が1億78百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ18億78百万円増加し、591億21百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により37億21百万円増加し、剰余金の配当により19億10百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想につきましては、平成25年10月11日に公表いたしました予想に変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,351	21,432
受取手形及び売掛金	2,749	2,949
商品及び製品	4,735	6,460
原材料及び貯蔵品	73	54
その他	2,884	2,781
貸倒引当金	△329	△304
流動資産合計	31,465	33,372
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	23,554	24,191
その他(純額)	9,866	9,827
有形固定資産合計	33,420	34,018
無形固定資産		
	452	396
投資その他の資産		
その他	16,108	16,883
貸倒引当金	△18	△15
投資その他の資産合計	16,090	16,868
固定資産合計	49,963	51,283
資産合計	81,429	84,655
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,909	6,314
未払法人税等	1,632	928
賞与引当金	306	108
ポイント引当金	99	95
株主優待引当金	84	39
資産除去債務	29	7
その他	7,487	8,210
流動負債合計	14,550	15,706
固定負債		
訴訟損失引当金	1,339	1,339
資産除去債務	3,880	4,058
その他	4,416	4,429
固定負債合計	9,636	9,828
負債合計	24,186	25,534

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,922	4,916
利益剰余金	60,767	62,578
自己株式	△12,050	△12,035
株主資本合計	57,100	58,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5	11
その他の包括利益累計額合計	△5	11
新株予約権	146	188
純資産合計	57,242	59,121
負債純資産合計	81,429	84,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	105,094	113,347
売上原価	49,566	52,123
売上総利益	55,527	61,224
販売費及び一般管理費	51,091	55,507
営業利益	4,436	5,716
営業外収益		
受取利息	51	40
受取配当金	2	2
為替差益	13	366
固定資産賃貸料	110	110
持分法による投資利益	7	14
その他	148	139
営業外収益合計	333	674
営業外費用		
固定資産賃貸費用	23	22
その他	20	16
営業外費用合計	43	38
経常利益	4,725	6,353
特別利益		
固定資産売却益	1	1
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産処分損	104	190
減損損失	62	76
災害義援金等	20	—
訴訟損失引当金繰入額	1,339	—
その他	2	9
特別損失合計	1,529	276
税金等調整前四半期純利益	3,197	6,078
法人税等	1,428	2,357
少数株主損益調整前四半期純利益	1,769	3,721
四半期純利益	1,769	3,721

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,769	3,721
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	16
その他の包括利益合計	△6	16
四半期包括利益	1,762	3,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,762	3,738
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ほっともつ と事業	やよい軒事 業	しゃぶしゃ ぶダイニン グMK事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	87,653	15,191	2,246	105,091	2	105,094	—	105,094
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	87,653	15,191	2,246	105,091	2	105,094	—	105,094
セグメント利益又は損失 (△)	3,927	588	39	4,555	△2	4,553	△117	4,436

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ほっともつ と事業	やよい軒事 業	しゃぶしゃ ぶダイニン グMK事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	92,737	17,971	2,638	113,347	—	113,347	—	113,347
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	92,737	17,971	2,638	113,347	—	113,347	—	113,347
セグメント利益	4,700	1,109	29	5,840	—	5,840	△123	5,716

(注) 1 当社には、報告セグメントに含まれない事業セグメントはありません。

2 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。